

<b>授業科目名</b>	子どもと言葉(2100225)		
<b>時間割名</b>	子どもと言葉(22110)		
<b>時間割担当</b>	伊崎一夫		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	火・2		

### 授業の目標・概要

幼稚園教員を目指す学生を対象として、幼稚園教育要領に示されている「人とのかかわりに関する『人間関係』」にかかわる内容について講義する。幼稚園教育における領域は小学校以上の科目とは異なり、それぞれが関連しあって総合的に教育されるものである。領域「人間関係」がどのようなねらいや内容を持ち、それらが他の領域とどのように関連しながら、幼児が経験する保育内容となるのかについて考えることができ、保育を展開することができる力を身につけ、それを生かした指導案作成を行い、それによる模擬授業も行う。

### 学習の到達目標

- ・幼稚園教育における領域「人間関係」のねらいや内容を正しく理解し、その視点に添って保育をとらえることができるようにする。
- ・領域「人間関係」を通して、保育の中で展開される人間関係について考察し、課題を解決する力を養う。
- ・幼稚園教育要領に則って指導計画を立てて模擬授業をするなど実践力を身につける。

### 授業方法・形式

1. それぞれの学習テーマに対して、資料を活用しながら授業を進めていく。
2. 必要に応じて、取り上げるテーマに関するディスカッションを行う。

### 授業計画

- 第1回 オリエンテーション  
講義内容に見通しを持ち、課題を共有する。
- 第2回 「幼稚園教育要領」と「保育所保育指針」における“言葉”の位置づけについて
- 第3回 言葉と出会うこと、その役割と意味について
- 第4回 保育の中の言葉について（保育者から子どもへ）
- 第5回 言葉遊び（計画）
- 第6回 言葉遊び（実践）
- 第7回 保育の中の言葉について（保育者から保護者へ）
- 第8回 言葉遊び（計画）
- 第9回 言葉遊び（実践）
- 第10回 言葉の織り成す世界について  
児童文化財である素話、絵本の読み聞かせなどから対象を1つ選び、テーマを決めて、グループワークをする。
- 第11回 グループワーク発表会
- 第12回 模擬授業演習(1) 言葉遊び 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第13回 模擬授業演習(2) 言葉遊び 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第14回 模擬授業演習(3) 絵本を用いて 実際に学習指導案を書いて模擬授業を行う。
- 第15回 これまでの学びを振り返り講義のまとめを行う。

### 成績評価の基準

毎回の授業中に行う小レポートを中心に評価し、授業に対する理解度をチェックする（30%）。示した課題への取り組みについて評価する（30%）。学期末テストで総合的な理解を確認する。（40%）

### 授業時間外の課題

- ・受講中に適宜ノートを取り、ノートそのものが参考資料となるようまとめておく。
- ・授業中に配布した資料については、ファイルし、整理しておく。
- ・日ごろから幼児へ関心を持ち、やり取りなどを記録しておく。
- ・『幼稚園教育要領』を参照し、指導内容を確認し、学習指導案作成の際に活用する。

### メッセージ

授業時間内に伝える。

### 教材・教科書

資料は授業のたびに配布する

### 参考書

幼稚園教育要領